

令和3年1月28日

保護者の皆様

高槻市立芥川幼稚園

## 芥川幼稚園 教育アンケートの報告

昨年、教育アンケートを実施させていただき、改めて保護者の皆様の幼稚園教育に対する願いや関心の高さ、また、一人一人のお子さまが大切に育てられていることを感じることができました。今後もよりよいお子様の成長を願い、幼稚園・家庭・地域がともに手をつなぎ、幼稚園教育の充実に努力していきたいと思っております。つきましては、教育アンケートご協力のお礼と報告をさせていただきます。

回収率	100%	・・・	調査人数(83人)	回収人数(83人)
-----	------	-----	-----------	-----------

### 【お子様について】アンケート

「幼稚園に行くことが楽しい」「入園後友達とよく遊ぶようになった」では「思う」「ややそう思う」の肯定的な回答が多く、子どもたちにとって幼稚園が大好きで、友達とのかかわりが楽しめる場になっていることは、保護者の方はもちろんですが、私たちにとっても大きな喜びであり励みになります。

「して良いこと・悪いことを考えて行動しようとする」「約束を守って遊ぼうとすることができる」「ありがとうごめんなさいが言える」など、社会性や規範意識が育ちにつながる項目もありました。少数の方が、「あまり思わない」という回答もあり、日々の積み重ねを意識し、幼稚園と家庭が協力していきたいと改めて感じました。

### 【保護者の方について】

「子育ては楽しい」では「思う」「ややそう思う」の肯定的な回答が約99%でした。子育てをする中で、時には悩みや疑問などもあるかと思っております。幼稚園は、子育てをする保護者の方の思いに寄り添いたいと思うと同時に、年度途中から始めた「子育てサロン」のような場で共有させていただいていることは、大変うれしく思っています。子育てを楽しめている保護者の方には、大きな拍手を送りたい気持ちです。

「預かり保育や延長保育を積極的に利用したい」では、「そう思う」が73%で、昨年の66%を上回りました。就労支援型の預かり保育では、在籍数も年々増加傾向にあります。また、子育て支援の一環として行っている「なかよしタイム」の利用も常に定員に達しており、回数を増やしてほしいなどのお声もいただいております。

そんな中で、PTA活動をはじめ、「園の行事や教育活動に積極的に参加し、一緒に子育てをしようとしている」では、96%の肯定的な回答でした。それぞれの家庭や保護者の皆様に感謝しております。

### 【園について】

「遊びを中心に実体験を大切にされた教育活動に取り組んでいる」では、84%の方に「そう思う」と回答をいただきました。今後も公立幼稚園が大切にしている「遊びを通しての教育」の充実に研鑽していきたいと改めて感じさせられました。今年度は感染症対策についての項目もありました。手洗いうがいの励行は今後もつづけていきます。またこのような状況の中で、様々な工夫をしながら行っている行事や園運営にも全員の方から肯定的な回答をいただいております。様々な面でご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございます。見通しが立ちにくい中ではありますが、子ども達にとって、より良い園生活が送れるように、教職員一同奮起してまいります。今後ともご支援よろしく願いいたします。

【本園を選択された理由について】※複数回答可

自宅から近いという回答が65ポイントで一番多く、次いで保育内容が良いが49ポイントでした。地域の中にある保育内容が充実した幼稚園への期待の表れだと感じました。これを継続していくために必要とされる、「教師の質の高い（熱心さ、親しみやすさ、信頼できる、相談しやすい）」の問いには42ポイントの回答がありました。変わりゆく時代の中ではありますが、子どもたちの育ちに何が大切で何が必要かを、日々保育について語り合い、研修などにも積極的に参加し、自ら学ぶ姿勢を大切にしております。一人一人の教師の人間力も高まるよう、今後も努力を怠らず、幼稚園教諭としての質の向上に努めてまいりたいと思っております。

【音楽会のアンケートより】

「このような状況の中で、園が工夫をして実施してくれてありがたかった」という内容の回答を多数いただきました。また、「子ども達が自信をもっているのが伝わった」「わが子の成長をうれしく感じた」などの感想をいただいております。幼稚園としましても、今できることを考え、前に進んでいきたいと思っております。まだしばらくは、このような状況が続きますが、子ども達を中心に、保護者の方、そして幼稚園、地域と力を合わせていきたいと思っております。

今年度の幼稚園評議員の皆様へ、アンケートの結果を報告し、ご意見をいただきました。

今後の園運営に、活かしていきたいと思っております。

<評議員の皆様のご意見>

評議員の皆様

(高槻市立芥川小学校校長)

(芥川地区主任児童委員)

(芥川地区福祉委員会副委員長)

- ・各項目で肯定的な回答が多いのは、教職員が保護者や地域との連携を取り、子ども達にきめ細やかな指導と丁寧な取り組みをしてきた表れであると感じる。
- ・「幼稚園に行くことを楽しんでいる」「一人一人の個性を大切にし、意欲や自信を持たせている」では、肯定的な数値が高く、安心して楽しく遊べていること、そして学びに向かう意欲や自己肯定感の育成に繋がっていると思う。
- ・コロナ禍の中、可能な範囲で「見通しをもちながら学ぶ、キャリア教育の視点」とともに、1年生や小学校との「幼小接続」の交流活動を、小学校と幼稚園がともに工夫をしながら進めていければよいと思う。
- ・誰もが新しい生活様式に戸惑いや不安を感じた1年であった中で、保護者は園に信頼と安心をもっていると感じた。園の熱意や姿勢、取り組みが保護者に通じているのではないだろうか。
- ・一人一人の個性を大切にし、意欲や自信がもてるような保育を心掛けていることが伝わった。
- ・わが子の成長を楽しみにしながら、子育てしている保護者が多いと、アンケートから読み取れた。不安な時代の中で子育てをしている保護者に「子育て、よく頑張っているね、偉いね」と声掛けをしてほしい。
- ・マスク文化にとっても不安を感じる。コロナ禍で生まれた子どもは、身内以外の大人の顔はマスクをした顔しか知らない。その子たちが幼稚園や小学校に上がってきた時、どんな子ども像、人間像、人間関係になっているのかと考えてしまう。
- ・子どもはエネルギーに満ち溢れ希望の証である存在。幼稚園、保護者も「子ども達のために」と共通の思いをもち、地域からも応援をし、見守っていきたい。

